

公立大学法人大阪府立大学 平成30事業年度の業務実績に関する評価結果の概要

大阪府市公立大学法人大阪評価委員会
(事務局 大阪府府民文化部府民文化総務課)

公立大学法人大阪府立大学の各事業年度の業務実績については、地方独立行政法人法に基づき、大阪府市公立大学法人大阪評価委員会による評価を受けることとなっており、令和元年8月19日に開催された令和元年度第3回評価委員会において、平成30事業年度の業務実績の評価結果が決定されました。

全体評価 「おおむね年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」

- 大項目について、5項目がA評価（計画どおり進捗）、1項目がB評価（おおむね計画どおり進捗）であり、教育研究等の質の向上についてもおおむね計画どおり進捗していることを確認した。
- 委員会コメント
 - ・看護職、理学療法士、作業療法士および管理栄養士の国家試験合格率が極めて高く、優秀な人材の育成・輩出に取り組んでいる。また、I-site なんばにおける社会人向け公開講座の充実や高専における公開講座及び出前授業の拡充など、多様な学習機会の提供に取り組んでいる。このほか、教育の質保証の充実、若手研究者や女性研究者の育成・支援、地域や社会への学習機会の提供など、教育・研究・地域貢献に関する取組みについて非常に努力していることは評価できる。今後、こうした取組みや成果について、積極的に情報発信・PRに努めてもらいたい。

大項目	評価					主な判断理由・特記事項
教育研究等の 質の向上	全体的におおむね計画どおり進捗していると認められるが、一部項目については、引き続き検討・対応を求める					「教育研究等の質の向上」の地域貢献等及びグローバル化以外に関する14の小項目について、進捗状況をチェックしたところ、看護職、理学療法士、作業療法士および管理栄養士の国家試験において高い合格率を達成するなど、教育、研究の分野において、全体的におおむね計画どおり進捗していると認められるが、一部項目については、引き続き検討・対応を求める。
	「地域貢献」及び「グローバル化」の項目はA評価に該当					I-siteなんばにおいて新たな社会人向け公開講座の実施や、高専において多数の参加を得ている公開講座や出前授業を実施するほか多様な学習機会の提供に取り組んでいるなど、他の項目も総合的に判断し、年度計画を順調に実施と判断。
業務運営の 改善及び効率化	S	A	B	C	D	「組織の活性化」の小項目では、教員業績評価において、業績評価は年度内に実施しており、インセンティブの付与には至っていないものの、全体として計画の実施は一定進められていると認められた。
財務内容の改善	S	A	B	C	D	当期総利益の計上については、外部資金・収益の獲得に努めており、法人の経営努力が計画を順調に進められた結果現れていると認識できるなど、総合的に判断し、計画どおりの進捗が認められた。
自己点検・評価及び 当該状況に係る 情報の提供	S	A	B	C	D	高専においてJABEE認定継続審査の認定を得るなど、他の項目も総合的に判断し、計画どおりの進捗が認められた。
その他の業務運営	S	A	B	C	D	高専の施設設備の整備において計画以上に改修を進めたことなど、他の項目も総合的に判断し、計画どおりの進捗が認められた。
大阪市立大学 との統合等	S	A	B	C	D	大阪市立大学と共同で新法人設立に向けた取組みを進めるとともに、単位互換科目（地域実践演習）の開講など、他の項目も総合的に判断し、計画どおりの進捗が認められた。

※評価区分 S：特筆すべき進捗状況 A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：やや遅れている D：重大な改善事項あり

※「教育研究等の質の向上」（「地域貢献等に関する項目」及び「グローバル化に関する項目」を除く）については、教育研究の特性への配慮から、専門的な観点からの評価は行わず、進捗状況の確認にとどめた。